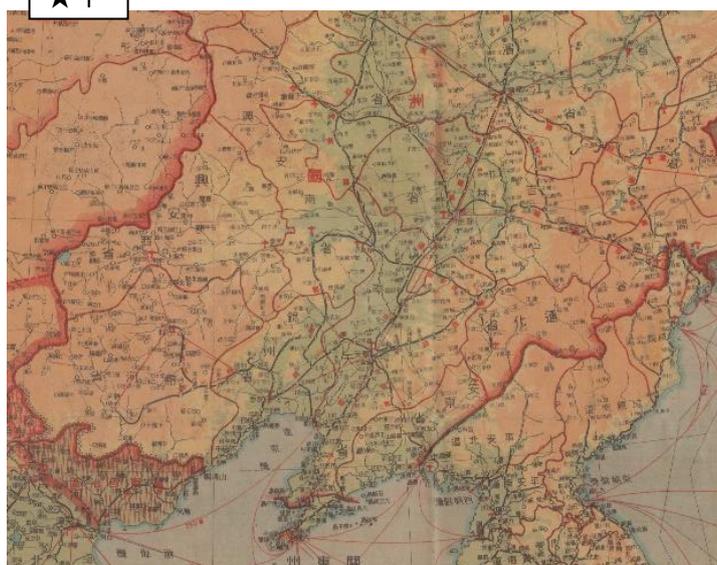
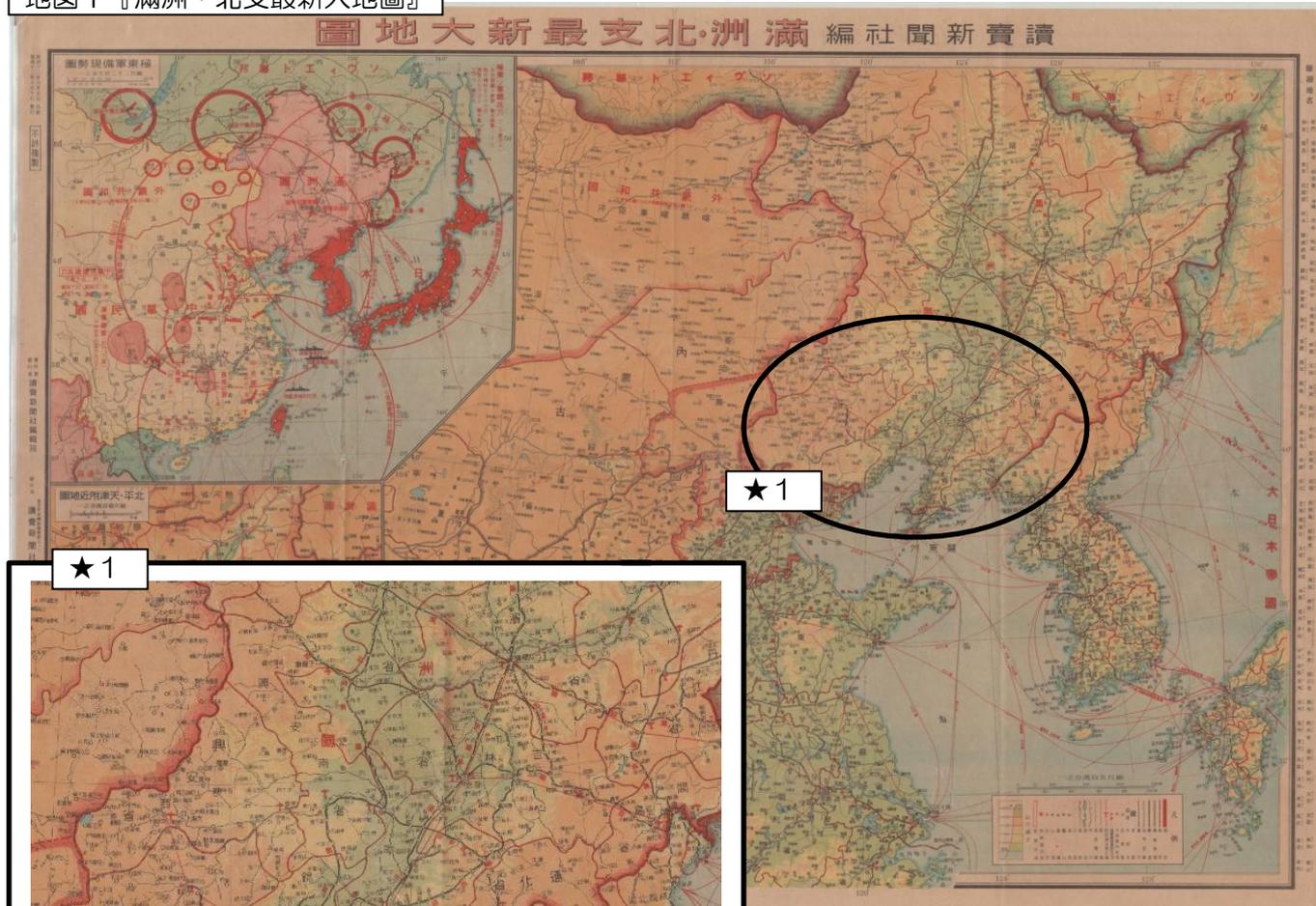


授業で使える当館所蔵地図

No.	資料名	作成年	寸法	作者
地図1	『満洲・北支最新大地圖』	1937（昭和12）年	54×76cm	読売新聞社編集部
地図2	『満洲經濟地圖』	1934（昭和9）年	110×79cm	東亞産業協會
地図3	『朝鮮満洲旅行案内』	1936（昭和11）年	17×19cm	三省堂旅行案内部

地図1『満洲・北支最新大地圖』



【利用の例1】

歴史的分野での活用

第6章 二度の世界大戦と日本

3節 世界恐慌と日本の中国侵略

4 満州事変と軍部の台頭

1933年、3月、国際連盟が満州国を認めなかったため、日本は国際連盟を脱退する。その際、松岡洋右は、満州国の必要性を説いた。日本は「国際的な組織の一員であること」と「満州国（満州）」とを天秤にかけた際、世界平和・国際協調を願う組織を脱退しても満州国の建国を選んだ。その選択の背景には、多くの理由が存在する。その理由の一つを探究するきっかけを、地図1・2で生徒に提供できると考える。

【解説】地図1は読売新聞社編集部（1937年）、地図2は、東亞産業協會（1934年）が、それぞれ作製した満洲に関する地図である。

1931年の満州事変をきっかけに、関東軍は1932年に満州国の建国を宣言した。そして、1933年、日本は国際連盟の採択に反発し、国際連盟を脱退することになる。国際的な組織を脱退してまで、守りたかった満州国の価値とは何か。その価値を、地図1、地図2を活用することで、生徒と教師が共に探究する機会が生まれる。更には、地図内に記載されている鉄道や、道路、都市、凡例に目を向けることで、当時の日本政府、日本軍（関東軍）、日本国民や、満州国に関わった人々の思いや判断に触れていく授業を計画することができると考える。

地図2『滿洲經濟地圖』1934（昭和9）年

滿洲經濟地圖

【利用の例2】

1937年に作製された地図1と1934年に作製された地図2とを時間的、空間的、関係的な視点から読み取っていくことで、どのような変化が生まれているのかを生徒と共に探究する、対話することができる（1933年、2月、松岡洋右が国際連盟の採択に抗議して議場から退席し、3月、日本が国際連盟からの脱退を正式に通告した理由を考えることができる）。

さらには、旅順・大連・奉天を中心とする様々な都市の役割を生徒と共に探究することで、当時の日本政府、日本軍、国民の動き、思いに迫っていくことが可能であると考え（例えば、地図3を活用する。地図3は観光パンフレットである。この時代に、観光パンフレットが存在した事実からも授業を考えることができる）。

★2 奉天 清王朝の基礎を築いた満州一の古都

「清の太祖・ヌルハチの眠る政治、経済の中心地」「日本の力を中国に示す奉天の都市開発」「日本の繁栄に欠かせない奉天周辺の天然資源」と、様々な顔をもつ奉天という場所には多くの魅力が存在した。特に、奉天を中心とする奉天省は世界有数の埋蔵量を持つと言われた天然資源の…（中略）…奉天は満州支配だけでなく、日本の軍備や産業の発展にも密接に絡んでくる重要な地域だった。

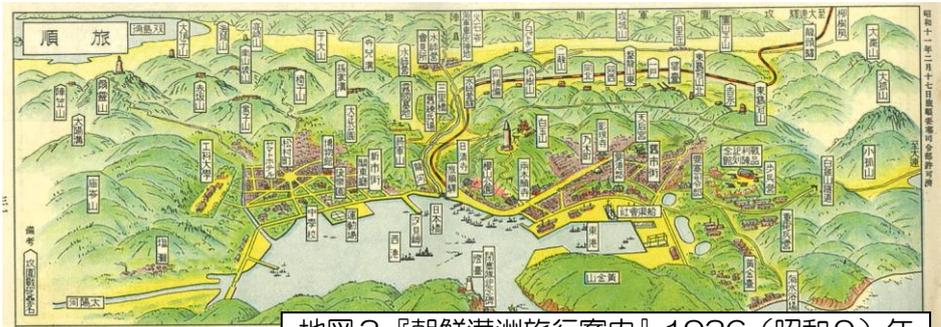
★3 大連 満州の経済を牽引した極東屈指の港湾都市

1932（昭和7）年に満州国が建国されるまで、大連は旅順と共に日本の満州支配の拠点としての重責を担い、商業、貿易、文化の中心地としてその役割に恥じない発展をしていった。大連には町の発展を見込んだ多くの日本人が移住し、浪速町や連鎖町といった繁華街が…（中略）…1940年の統計では、大連に暮らす日本人の総数は、175483人であり、ロシアが拓いた都市・大連は満州で最も多くの日本人が暮らす都市になっていた。

★4 旅順 日本人が多大な犠牲を払って手に入れた要衝

「天然の要害に守られた軍事の重要都市」

旅順という地名は大連や奉天などと共に、日本人が植民地とした都市の中では最も広く知られた都市である。しかし、旅順が大連や奉天と違ってしたのは、旅順は普通の都市ではなく、軍事都市だったことである。満州国建国から八年が過ぎた1940（昭和15）年の時点で、旅順にいた日本人は12706人だったと言われている。大連は満州国の主要都市の中では最も多い175483人の日本人が暮らしており、旅順の日本人の人口は大連のわずか10分の1以下だった。ちなみに旅順の総人口は大連の約10分の1程度であった。この数字が、旅順という都市の性格をもっとも端的に表している。旅順は大連とは違った役割を担っていた都市であり、日本軍が満州や朝鮮で勢力を拡大するためには欠かすことができない、軍事都市だったのである。



地図3『朝鮮満洲旅行案内』1936（昭和9）年

「地図3：朝鮮満洲旅行案内」は観光パンフレットである。その中に「旅順」の地図が記載されている。

旅順という都市の、地理的な特徴がわかる。



★2

★3

★4

参考文献：戦記シリーズ：第67号 別冊歴史読本永久保存版 91 満州古写真帖 ～秘蔵写真で巡る悠々の大地、激動の足跡～ 出版社：新人物往来社（2004年）